

WILL HUTTON

▪ Journalist, broadcaster and commentator

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Leadership
- Motivation
- Politics

Will Huttonは現在、2011年にオックスフォードのハートフォード・カレッジ校長に就任しました。以前は、The Work Foundationのエグゼクティブ・バイス・チェア、イギリスで最も影響力のある仕事、雇用、および組織の問題を担当しました。意欲的な政治的およびビジネス上の人物に助言し、国内外のメディアでコメントするよう定期的に求められている、ウィルは今日、国内で最も優れた経済学の解説者の一人です。

彼はBBCに移動する前に証券ブローカーおよび投資アナリストとして市内でキャリアを始め、そこでラジオ、プロデューサーおよびレポーターとして、そしてテレビでNewsnightの経済特派員として働いていました。The Work Foundationに入社する前、Willはオブザーバーの編集長として4年間を過ごしました。そのため、彼は週刊コラムを執筆し続けます。彼はまた、定期的にガーディアンとフィナンシャルタイムズに貢献しています。

Willの最も有名な本は、おそらくThe State We're Inであり、当時はブレア革命の舞台になると見られていました。それ以来、彼は「Ant State to The Edge」(Anthony Giddensと共に)の「グローバリゼーション」と「21世紀の中国と西側の書き方」の画期的な分析を発表しました。ウィルは現在彼の次の本に取り組んでいます - 公平性と適正な砂漠のタイムリーな検査 - それらと私たち。

作業財団の外では、ウィルはロンドンスクールオブエコノミクスの総督であり、グローバルガバナンスセンターの客員教授でもあります。彼はScott Trustのメンバーで、Sunningdale Instituteの仲間です。2004年に、ウィルはリスボン戦略の中期レビューでハイレベルグループに参加し、最終報告のための「報告者」として行動するよう欧州委員会から招待されました。

ごく最近では、ウィルはビジネス秘書、マンデルソン主席によって招待され、これらの分野における従来の政策思考に挑戦し、政府の新産業全体にわたるアイデアを生み出すために設立されたそれを技能と高等教育の課題と結びつける仕事の課題。